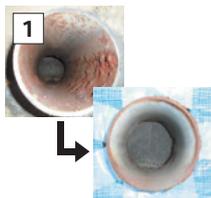


従来は困難だった マンション通気管の再生を実現

通気管は、建物の給排水設備において空気の流れを確保し、排水を円滑にする重要な役割を担っている。しかし、屋上貫通部を含む通気管の更新工事は、防水層の存在により施工が困難である。通気管は排水管と比べると劣化状況は軽度ではあるが、硫化水素ガス等の影響で腐食が進行するケースや、湯気による「結露水」漏水も多く報告されており、対策が待たれていた。「BL-V工法」は、ベントキャップ部から最上階パイプスペース内に至る通気管を、高強度アラミド繊維補強FRPライニングで一体成型する技術。これまで困難だった通気管の再生を実現し、漏水リスクをゼロに抑えるほか、耐久性を大きく向上させることができる。また、掃除口付きベントキャップへの交換により、メンテナンスも容易となる。

■施工手順



管内のクリーニング



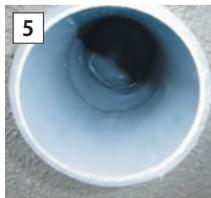
DR/バルーン内にてDRクロスにエポキシを含浸



BL-V工法によるライニング



DR/バルーン加圧中



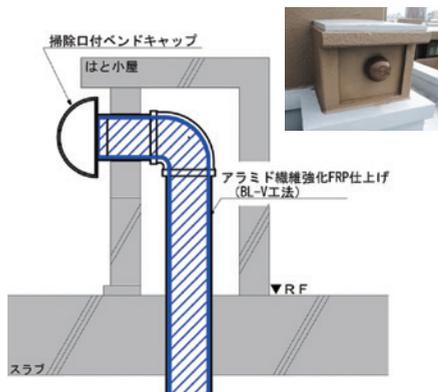
ライニング後の管内



掃除口付きベントキャップを取り付け工事完了



施工後の通気管断面



工法イメージ

施工前
(劣化した通気管内部)施工後
(再生された通気管内部)

問い合わせ先

株式会社大勝テック Tel.03-3856-2870 <https://www.daisho-tec.com/>